

簡易型表示盤

DSP016D30L取扱説明書

VER1.0 初 版

大杉株式会社

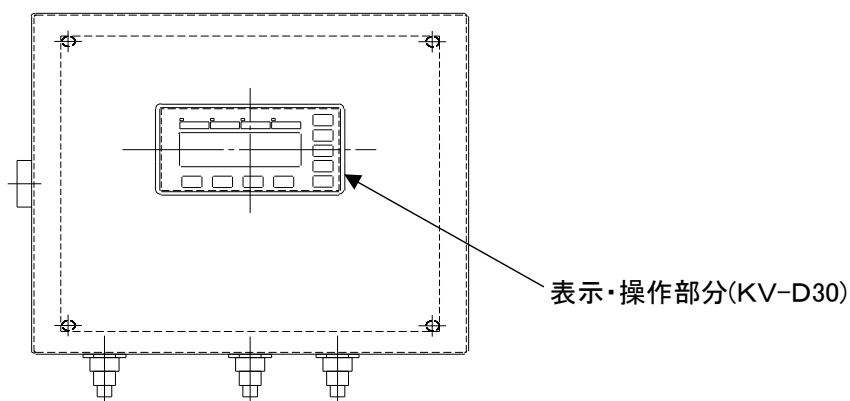
1. 取扱の注意

取扱に際して、以下の事項を守り、正しくご使用下さる様お願い申し上げます。

- ①カウンター及び表示盤に使用する電源は、ノイズ影響が少なく、電圧変動 (AC100V±10%) の少ないものをご使用ください。
- ②信号ケーブルと動力線を並行して配線しないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。
- ③清掃される場合は、カウンター及び表示盤にビニール等で覆い、散水がかからないようにしてください。
- ④弊社のカウンターは、光電センサー(赤色LED)を使用しています。精度維持のため、定期的にカウンター底面の赤色のアクリルを乾いた柔らかい布(汚れのひどいときは、固く絞った柔らかい布)で軽く汚れをふき取ってください。溶剤や、クリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ⑤カウンターのカバー等は、危険ですので、開けたりしないでください。

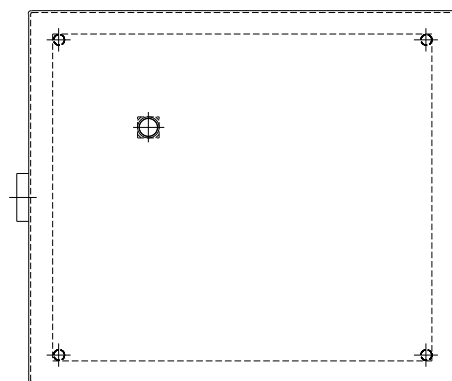
2. 概要

1) DSP016D30L



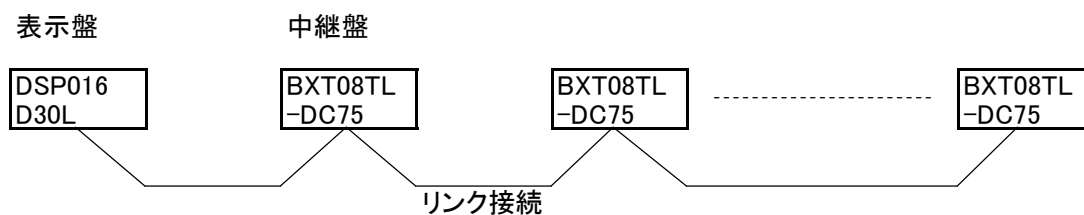
表示および操作部分は、パッケージ型パネルディスプレイ(KV-D30、キーエンス製)を採用しています。

2) BXT08TL-DC75



鶏舎毎に設置し、TG110PMと接続します。
1台当たり最大8台のTG110PMを接続することができます。

3. システム構成



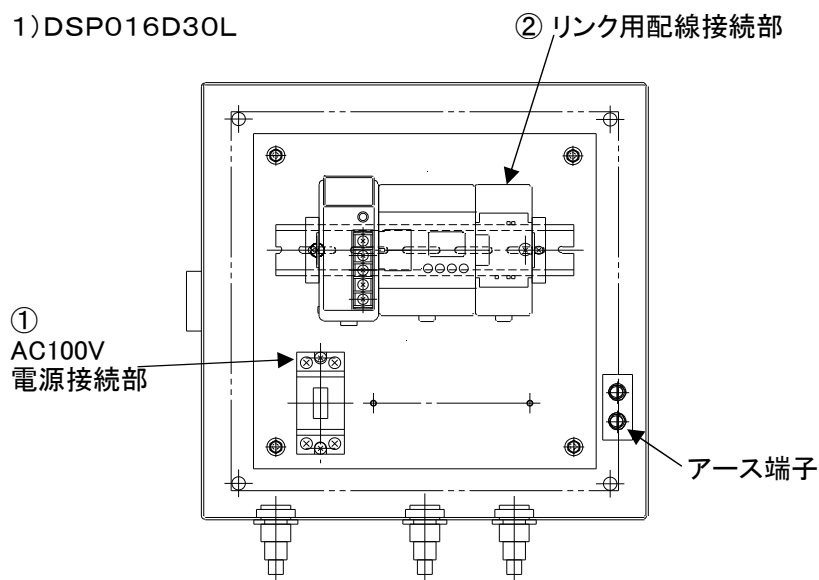
表示盤と各中継盤は、シリアル通信線で接続されます。リンク接続には専用のシールド線を使用します。

注意

各制御盤には、必要数のケーブルクランプ(キャプコンOA-1)が付属していますので制御盤の底部の穴に取付け、ケーブルを固定してください。

4. 接続の方法

1) DSP016D30L

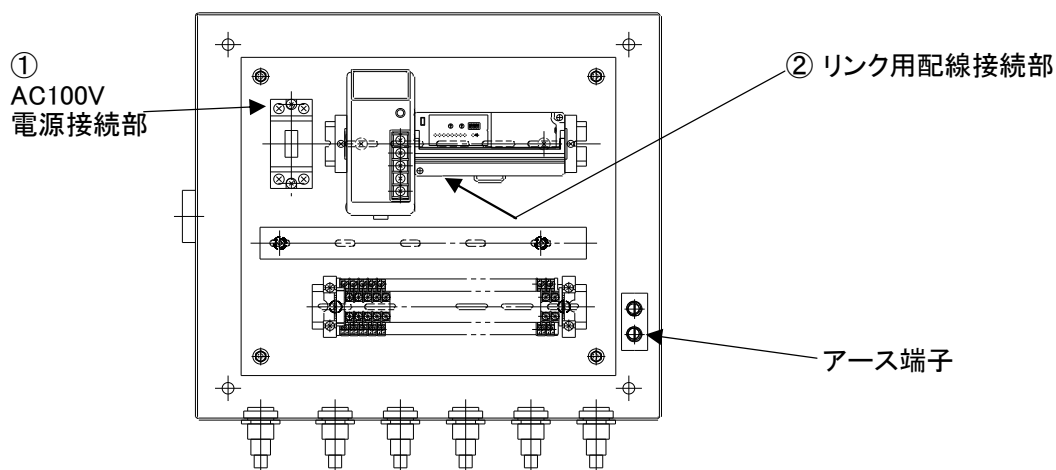


① AC100V電源は、上図のようにブレーカーの上部端子に接続します。
アース線は、アース端子に接続してください。

② リンク用通信線は、上図のようにリンクアダプタ(KL-N10V)の上側の端子に接続します。

注意 リンク用配線は必ず専用線を使用してください。

2) BXT08TL-DC75

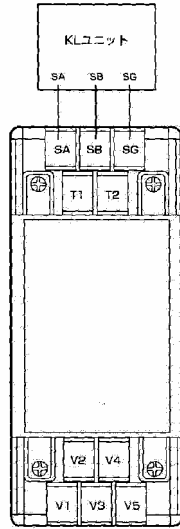


① AC100V電源は、上図のようにブレーカーの上部端子に接続します。
アース線は、アース端子に接続してください。

② リンク用通信線は、上図のようにリンク入力ユニット(KL-8BLX)の端子(SA,SB,SG)に接続します。

注意 リンク用配線は必ず専用線を使用してください。

4-1. DSP016D30Lの通信線の接続



KL-N10V外観

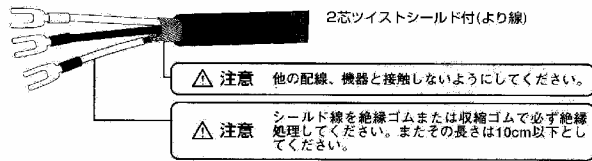
表示盤DSP016D30Lに左図に示すリンクアダプタが設置されています。このユニットの端子SA, SB, SGに通信線を接続します。

通信線は、弊社推奨の「サンライトSX 0.75x1P」を使用するかメーカー指定の「KPEV-SB(1P)」を使用してください。

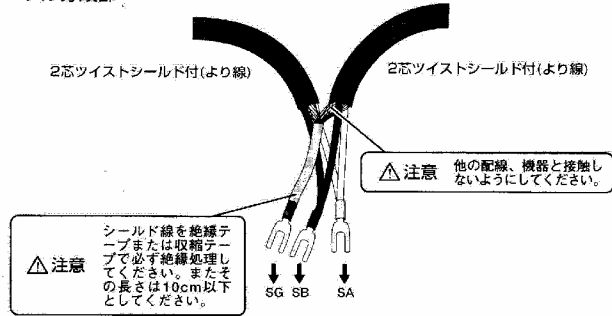
注意

ケーブルの端末処理は以下の方法に従ってください。T1, T2にショートバーが接続されている場合は、忘れずに接続してください。

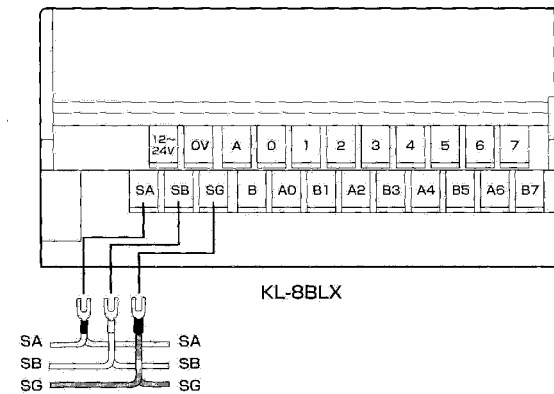
■ケーブル末端部



■ケーブル分岐部



4-2. BXT08TL-DC75の通信線の接続



KL-8BLX外観

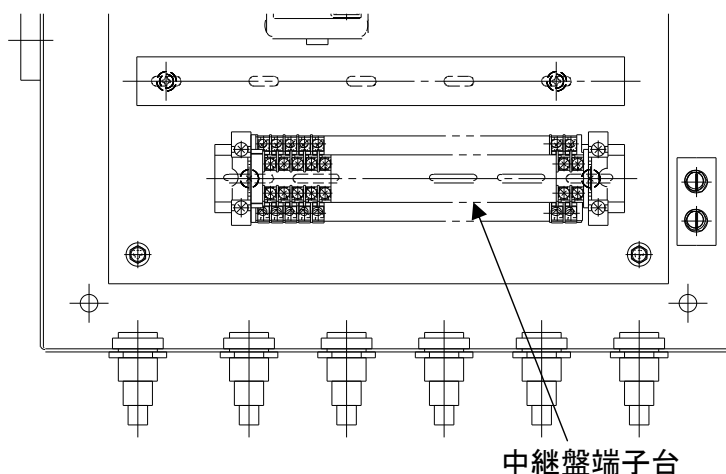
中継盤BXT08TL-DC75には左図のリンク用入カユニットが設置されています。KL-N10Vと同様に通信線を接続してください。

注意

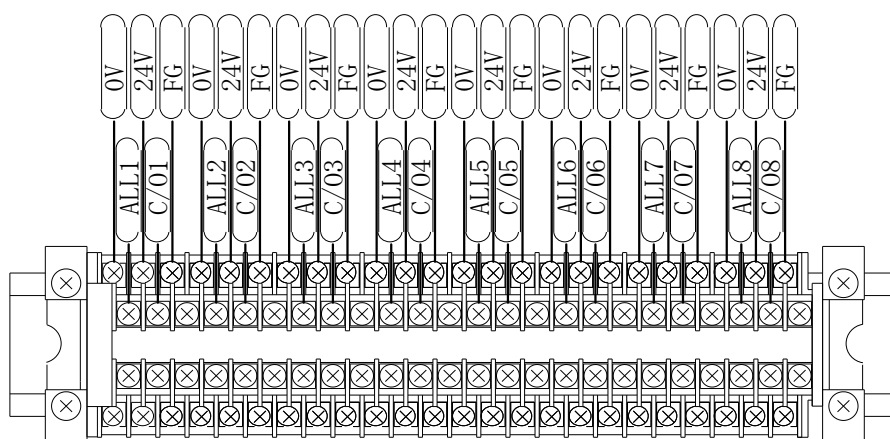
電源線の24V, 0Vをはずした場合は、極性を間違わないように接続してください。

5. エッグカウンターTG110PMとの接続

TG110PMは中継盤の端子台接続します。



端子台詳細



0V、24V、FG、ALL、C/Oの5つの信号で1台分のエッグカウンターに配線します。
特に0V、24Vの電源の誤配線に注意してください。

6. 表示盤の操作方法

1)電源の投入

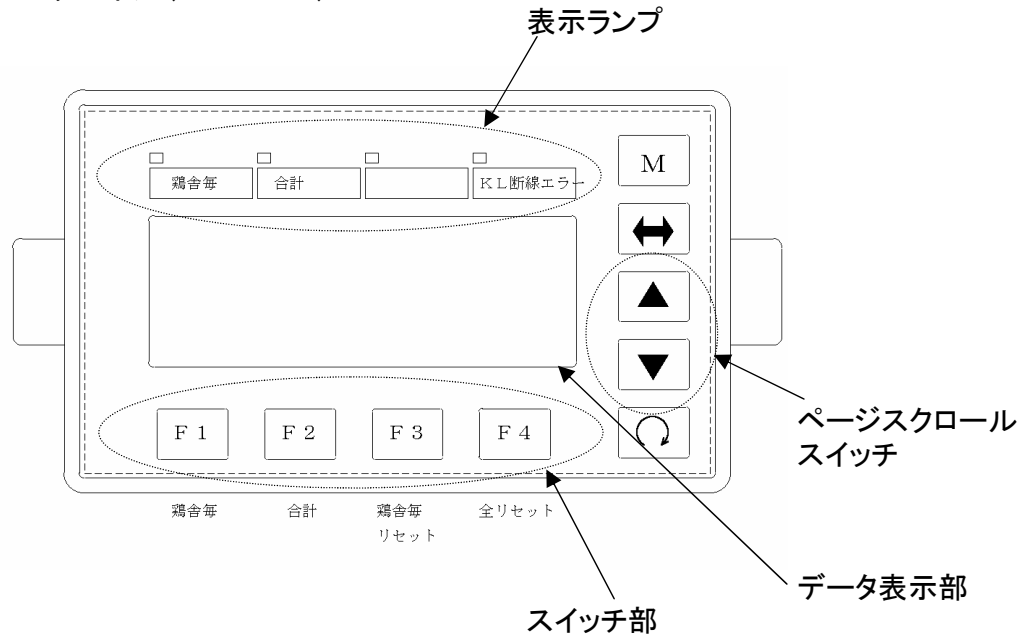
AC100V電源、通信線の配線後、各機器のブレーカーをONし、電源を投入してください。

2)通信状態の確認

表示盤のKL-N10Vあるいは中継盤のKL-8BLXのいずれかのユニット上のSD、RDランプが橙色に点灯あるいは点滅しているか確認してください。

3)各カウンターの配線が正しく配線されているか確認してください。

6-1. オペレータパネル(KV-D30)



1)表示の切換

表示画面は、以下の2種類のモードがあります。

・鶏舎別カウンター卵数表示

表示例	カウンター 1-1>	2183
	カウンター 1-2>	2122
	カウンター 1-3>	1898
	カウンター 1-4>	1123

※ **F1** (鶏舎毎)を押すと表示されます。



※ **▲** または **▼** を押すとページスクロールします。

上図の場合、1-5>から1-8>の表示に切り替わります。

・鶏舎別合計表示

表示例	鶏舎1合計>	2183
	鶏舎2合計>	2122
	鶏舎3合計>	1898
	鶏舎4合計>	1123


※ **F2** (合計)を押すと表示されます。

※  または  を押すとページスクロールします。


上図の場合、鶏舎5～鶏舎8、もう一度押すと鶏舎9～鶏舎10の表示に切り替わります。

注意 各カウンター表示は、0～65535までカウントします。
65535を超えると0表示に戻ります。
鶏舎合計表示は、32ビット表示ですので、通常、オーバーフローすることはありません。(65535以上の表示が可能です。)

2) 鶏舎毎リセット

鶏舎別カウンター卵数表示のときに、 を1秒以上押し続けるとその鶏舎のカウンタだけが0リセットします。

3) 全リセット

 を1秒以上押し続けるとカウンター値全てがリセットします。

7. サポート

ご不明点がある場合は、下記までご連絡ください。

大杉株式会社 開発部 杉本 宛

電話: 077-563-6060
ファックス: 077-565-3370